

ネットワーク北九州

2011. 4
NETWORK
KITAKYUSHU

タイ国自動車産業視察ミッション報告

【タイミングの概要】

アジアの自動車産業は、今やタイ国の動向を抜きにして語れません。

自動車産業への新規参入・取引拡大を目指す「パートネット北九州」は、日本貿易振興機構(ジェトロ)北九州貿易情報センターとの共同事業として平成23年2月20日(日)~24日(木)の日程で、パートネット北九州の浅野佳孝会長(株)デンソー北九州製作所社長)を団長に、13社4団体20名のタイミング団を派遣しました。

■パートネット北九州からの参加企業 (50音順)

石川金属工業(株)、(株)エイチ・アイ・デー、千代田工業九州(株)、(株)戸畠ターレット工作所、(株)深江工作所、(株)福岡多田精機、平和自動車工業(株)、松本工業(株)、三島光産(株)、(株)陽和、(株)リョーワ

■タイミングスケジュール

(1)タイ国の投資環境等の調査

- ・ブリーフィング(JETRO Bangkok)
- ・意見交換会(タイ投資委員会、タイ日本人商工会議所)
- ・調査(AMATA Corporation、豊田通商テクノパーク(株))

(2)タイ資本の自動車部品メーカー視察(4社)

- ・O.E.I. PARTS社
- ・SOMBOON ADVANCE TECHNOLOGY社
- ・C.C.S ENGINEERING社
- ・LIANG HUAO HENG FOUNDRY社

(3)日系部品メーカー等視察(5社)

- ・Siam DENSO Manufacturing社
- ・NT精密タイ(株) ・セイミツ・タイ(株)
- ・コバテック・タイ(株) ・小松精機タイ(株)

【タイの自動車産業の特徴】

タイでは、日産のマーチに続き、三菱、フォードも新車の生産を予定しており、2010年度の生産見込み160万台に対し、2011年度は200万台と予想されています。

また、FTAを効果的に活用し、現在は完成車の輸出が主ですが、今後は部品をASEAN、中国、インドへ向けて輸出する見込みです。

特に、タイ投資委員会(BOI)では積極的に製造業の誘致に取組んでいます。

【現地の自動車部品メーカーを訪問】

今回訪問したタイ資本の部品メーカー4社のうち3社は、いずれも日本人マネージャーの指導のもとで、設備や技能、管理面などにおいて、日本と同レベルを実現していました。また、残り1社も、福岡県・アジア中小企業交流プログラムに参加するなど、日本のモノづくりを積極的に取り入れようとしています。

各社とも、2011年はリーマンショック以前を上回る売上げを予想していました。

その一方で、日系部品メーカーの視察の中で、「タイの自動車産業の発展は十分魅力的であるが、大衆車や低価格車が中心なので、より一層のコスト競争にさらされている。仕事先を確保した上で進出でなければ成功しない。」「日本の工場を一つ閉鎖しても出てくる勇気がなかったらやめた方がいい。それ位タイは厳しい。そのような覚悟を決めて進出すれば、成功すると思う。」という指摘が印象に残りました。

【視察を終えて】

参加企業からは、「量産品の生産地として、タイは非常に競争力があり、今後も注視していきたい。」といった声や、「想像していた以上にタイの可能性を感じた。今後の海外展開をもう一度見直すことにした。」といった意見が聞かれるなど、今回の訪問は、グローバルな視点で自社を見つめ直す貴重な機会となりました。



駆動系部品を生産するO.E.I Parts社の最新鋭CNC旋盤

【問合せ先】 北九州市産業経済局中小企業振興課 担当：沖田・中嶋 TEL:093-873-1433

台湾・インドネシア鉄鋼関連ビジネス商談会報告

北九州市の鉄鋼関連分野で高度な技術力を持つ企業が、台湾の台北市・高雄市(2月13日～17日)、インドネシアのチレゴン市(2月21日～26日)を訪問し、現地の鉄鋼会社及びその関連企業と商談会を実施しました。

この商談会は、国内製造業の海外に向けた販路開拓を支援する、国の「地域中小企業海外販路開拓支援事業」を受託して、財団法人北九州産業学術推進機構と北九州市貿易振興課が、財団法人北九州国際技術協力協会の協力を得て実施したものです。

今回は、市内鉄鋼分野の企業の参加を募り、台湾とインドネシアの訪問団に13社が参加しました。

台湾・高雄市企業と商談会を開催

台湾は、IT産業を中心に成長を続けています。2009年の北九州港の貿易額をみると、台湾は国(地域)別輸出額で第3位、輸入額でも第6位に位置しており、北九州市の企業にとっては大きな調達先であると同時に、大きな市場もあります。

また、昨年6月に台湾と中国との間で関税の引き下げを柱とする「経済協力枠組み協定(ECFA)」が締結され、中国市场をはじめ東南アジアの市場開拓を目指す日本企業にとって、台湾企業をパートナーとする新たなビジネススタイルが注目を集めています。

今回、市内企業5社による訪問団は、台湾の首都台北市と工業都市高雄市を訪問しました。

台湾最大の鉄鋼会社中国鋼鉄をはじめ鉄鋼関連企業に対するプレゼンテーション及び商談を行いました。また、高雄市の全面的なバックアップにより、企業や政府の要人が参加し、有意義な商談会となりました。

インドネシア・チレゴン市を訪問

一方、市内企業8社によるインドネシア訪問団は、インドネシア最大の国営製鉄会社であるクラカタウ社が立地するチレゴン市を訪問しました。同市は首都ジャカルタから西に120km程のところにある重工業の町です。

商談会には、クラカタウ社及びインドネシア鉄鋼工業協会(IISIA)の鉄鋼関連企業から約100人が参加し、北九州企業による生産設備、装置・部品、保守管理など、製品及び技術に関するプレゼンテーション及び商談を行いました。

今回のミッションでは、クラカタウ社及び鉄鋼関連企業の現状把握とビジネスマッチングの可能性を確認することができました。また、北九州企業の生産設備、装置・部品、保守管理などのノウハウに対して非常に高い関心が寄せられ、今後、継続的な商談が期待できることが分かりました。



金属研究開発センター(高雄市)にて、訪問団一同



クラカタウ社のメンテナンス工場を視察

【問合せ先】 (財)北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター TEL 093-873-1430
北九州市産業経済局貿易振興課 TEL 093-551-3605

中小企業支援センター 窓口相談・専門家派遣事業

北九州市中小企業支援センターでは、マネージャーによる個別相談や専門家派遣のコーディネートなどを通じて、経営課題の解決に向けたアドバイスや販路拡大への支援等を行っています。

平成23年度のマネージャーは次の5名です。どうぞ、お気軽にご相談ください。

隈井 文生 くまい ふみお

中小企業診断士、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー。創業アドバイスや経営改善・経営革新、管理体制や仕組みづくりなどを総合的に支援。



財前 秀生 さいぜん ひでお

福岡県内の中小製造業の情報や県内外の発注情報に精通。製造業等の下請け取引にかかる苦情紛争処理に長年関わる。



松本 克彦 まつもと かつひこ

技術士(環境部門・総合技術管理)、品質・環境ISO主任審査員。品質管理や環境技術、省エネ対応、規格認証(ISO)に対する相談にきめ細かく対応。



西村 恒二 にしむら きょうじ

経営コンサルタント、ファイナンシャルプランナー。金融機関取引と「おカネ」に精通。多くの経験と幅広い人脈を持つ。



齊藤 久美 さいとう くみ

中小企業診断士、ファイナンシャルプランナー。小売業や飲食店など、商業分野のマーケティングを得意とする。特に女性の視点からのアドバイスを行う。



○相談は無料です。

○予約制のため事前に電話でお申し込みください。

日 時 月～金曜日 9:00～17:00

相談時間 原則として1回1時間程度

申込み・問合せ先

北九州市中小企業支援センター

TEL:093-873-1430

第69回全日本学生児童発明くふう展 文部科学大臣賞を受賞! 北九州市立本城小学校4年生 野田 宏人さんの「ビンのパイプオルガン」

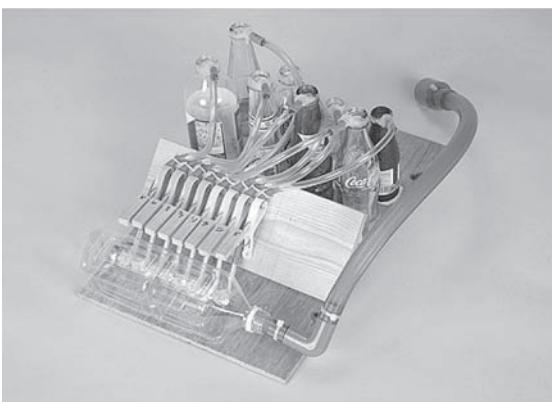
去る2月24日(木)に第69回全日本学生児童発明くふう展(社団法人発明協会・毎日新聞社主催)の表彰式が東京で開催され、北九州市立本城小学校4年の野田 宏人さんが「文部科学大臣賞」を受賞しました。

全日本学生児童発明くふう展は、子供達にモノづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てる目的としています。

野田さんの作品「ビンのパイプオルガン」は、昨年10月発明協会福岡県支部主催の第53回福岡県児童生徒発明くふう展で「福岡県知事賞」を受賞し、全国展へ推薦されていたものです。

この作品は、ホースに息を吹き込みながらキーを押すと、押したキーに対応する音階のビンが音を出します。ビンに息を吹き込むとビンの中の空気の量に応じて違う音階の音が出ることを利用し、ビンの大きさや水位で音の高さを変えています。

息を吹き込みながら洗濯ばさみのキーを押せば、ドレミファソラシドの音が鳴り、簡単な曲の演奏が可能になっています。



北九州市立本城小学校 野田 宏人さんの作品「ビンのパイプオルガン」

震災の影響に伴い、セーフティネット保証5号は全業種が対象となります。

中小企業庁は、東北地方太平洋沖地震による影響を踏まえ、平成23年度上半期のセーフティネット保証5号の対象業種を引き続き原則全業種にすると発表しました。

当初は、平成23年4月から業種指定を見直し48業種で実施する予定でしたが、今回の震災による影響に伴い、緊急避難的に全業種に広げるとともに、急激な売上げ減少を新たに認定基準に追加しました。

【問合せ先】

北九州市産業経済局中小企業振興課
融資担当 TEL:093-873-1433

平成23年度上半期（4月～9月）のセーフティネット保証5号認定基準		
保証割合	100%保証	
業種指定	原則全業種（82業種）	
認定基準	(イ) 売上げの減少	①最近3ヶ月の売上高が前年同期と比較して5%以上減少していること。 ②東北地方太平洋沖地震の発生に伴う経営悪化（最近1ヶ月間の売上高が前年同月と比較して20%以上の減少、かつその後2ヶ月間の減少が見込まれること）。
	(ロ) 原油価格の高騰	原油等の仕入単価の上昇（20%以上）に伴う経営悪化

研究開発助成募集のご案内

中小企業技術開発振興助成金

目的:市内で新技術・新製品などの研究開発を行う中小企業者、中小企業団体に対して、研究開発費の一部を助成します。申請は企業単独が原則ですが、グループでの申請も可能です。

対象:市内の中小企業者、中小企業団体、創業予定者(交付決定時までに事業を開始できる者)

内容:新技術・新製品等の研究開発に必要となる原材料費、機械装置購入費、外注加工費など。

助成金額:500万円以内

助成率:対象経費の2/3以内(創業して5年未満の場合は対象経費の3/4以内)

期間:平成23年4月1日～平成23年5月18日

担当:北九州市産業経済局中小企業振興課

井上、寺河 TEL:093-873-1433

環境未来技術開発助成金

目的:循環型経済社会及び低炭素社会の実現に向け、環境産業の振興・集積を図ることを目的に、新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の研究に対して、研究開発費の一部を助成します。

対象及び内容:

【実証研究】北九州エコタウン実証研究エリアで実証研究を行う者(原則) 1,000万円以内

【社会システム研究】市内に事業所を置く企業又は市内企業と共に主に市内で研究開発を行う者 200万円以内

【FS研究】市内に事業所を置く企業、又は市内企業と共同で研究開発を行う市内の者 200万円以内

<助成率(上記共通)> :市内の中小企業が中心の場合、又は市内の教育研究機関と市内中小企業が共同で実施する場合は2/3以内、その他は1/3以内もしくは1/2以内(重点分野)

期間:平成23年4月1日～平成23年5月10日

担当:北九州市環境局環境モデル都市推進室

荒川、富本 TEL:093-582-2630

<5月から募集を開始する研究開発助成>

中小企業産学官連携研究開発事業

目的:産業技術の高度化と活力ある地域企業の創出・育成を目指し、産学官が連携して行う優れた新技術・新製品の研究開発に対して、研究開発費の一部を助成します。

対象:大学等と共同で研究開発を行う市内の中小企業者

内容:【一般枠】補助終了後3年程度以内に実用化される見込みのある新技術や新製品開発に必要となる経費。

限度額 1,000万円以内。期間 最長2年。

【FS研究枠】開発の前段階としての技術的内容・市場性等に関する調査・実証に必要となる経費。

限度額 100万円以内。期間 1年。

低炭素化技術拠点形成事業

目的:低炭素社会の構築を図るために、事業化を目指した実証・研究開発プロジェクト(ビジネスモデル調査事業、重点研究プロジェクト推進事業、ミニ実証事業)に対し、研究開発費の一部を助成します。

対象:市内の企業・組合(市外企業・組合は条件付きで可)

上記2事業の担当:

(財)北九州産業学術推進機構産学連携センター
事業推進課 高村、二見、中野 TEL 093-695-3006

〔4月19日(火)11時から産学連携センターにおいて
事業説明会を開催する予定です。〕

※ なお、上記の各種助成金の募集は、平成23年度北九州市本予算の成立を前提として実施するものです。